

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(つながり・かかわり)

## 「絵本YOMI-1グランプリ」事業

### 人を感動させる絵本の読み聞かせコンテストで モチベーションと表現力の向上

絵本に感動したという経験を持つ人は少なくないはず。その絵本の読み聞かせを競うコンテストが盛岡市で開催された。参加者はグランプリを目指し、思い思いの衣装や演出で観客の心をとらえることに挑んだ。絵本の読み聞かせを通して、改めて人々の心を癒し、感動させる力が人の声にはあることを確認する機会となった。



絵本の読み聞かせを行う「第3回絵本YOMI-1グランプリ～みんなの大きな読み聞かせ会～」

#### 老若男女20組の参加者が読み聞かせの 技術やパフォーマンスを観客に披露

2015年11月1日、盛岡市のアイーナホールで観客に向けて絵本の読み聞かせを行う「第3回絵本YOMI-1グランプリ～みんなの大きな読み聞かせ会～」が開催された。約60組(個人参加含む)の応募者の中から一次選考(テープ、DVDなど)を通過した小学生7組、一般・グループ6組、一般・個人7組の計20組が、約500名の観客を前に各部門のグランプリを競った。

参加者の多くは岩手県内在住だが、一次選考には東北各県や関東からの応募もあった。一般の部の参加者は、日ごろから読み聞かせ活動をしているグループや個人のほかに、フラダンスサークル、子ども・母・祖母という3世代チー

ムなど、バラエティに富む。小学生の部でグランプリに輝いたのは、一昨年、一次選考を 통과せずに大泣きしたという男の子。今回は努力が実った受賞となった。一般・個人の部はランドセルを背負って情感のある読みで観客の心をつかんだ70代後半の女性だった。

YOMI-1グランプリの特徴の一つは、グランプリが観客の投票によって決定されるということ。「もう一度聞きたい読み、いちばん魅了された発表」が選考基準であり、聞き手に伝わりやすく読み聞かせることができるかどうかのポイントである。そのため、衣装やパフォーマンスに凝る参加者がいる一方で、じっくりと読みのスキルに徹する人もいる。読む絵本は事前に課題絵本として20冊決定され、1冊につき1組だけが本選に出場できる。

#### 発表の場づくりと相互交流を目指し 絵本の読み聞かせコンテストを開催

主催・運営にあたったのは、盛岡市内にあるKOTOSE音読教室を母体とする「絵本YOMI-1グランプリ実行委員会」。その中心メンバーである尾形さゆりさんと佐藤久美子さんは、グランプリ開催の意図を次のように語る。

「いま、小学校教育では毎日のように音読が宿題として出されています。しかし、読む子どもたちも、指導する先生も、家庭で確認する親も、どのような読み方をすればいいのかわからないという声が多い。また、読み聞かせに取り組むボランティアなども、はたして自分たちの読み方でいいのか、比較検討や情報交換をする機会が少ない。そこで、音読のモチベーションとなるような発表の場をつくることと、そうした悩みを解決する一助になればいいという思いで、このイベントを企画しました」。

実行委員会のメンバーは、絵本YOMI-1グランプリキャラバン隊を組織し、月3回程度、学校や児童館、読み聞かせイベントなどを回り、実際に課題絵本を読んだり、チラシを配布するなどの広報周知活動を行ったという。

「グランプリ開催後には、参加者同士の交流が生まれたほか、助成を活用して制作していただいたテレビ番組(注:11月28日、13時30分～14時、IBC岩手放送)などを見て、来年はぜひ出場したいという子どもたちの声もたくさんいただきました。改めて絵本が持つ力、人が生の声で読み聞かせることの力を感じています」と、尾形さんと佐藤さん。「さらに発信力を高め、全国から子どもたちをはじめ、さまざまな方々に参加していただけるようなグランプリにしていきたい」と、今後の抱負を語った。「読み聞かせ甲子園」のようなコンテストに育ってほしいものである。



普段から読み聞かせ活動をしているグループや個人のほかに、フラダンスサークル、3世代チームなど、バラエティに富んだ参加者が集まった



絵本を読むだけでなく、パフォーマンスに凝る参加者もあり、会場は盛り上がった

助成団体: 絵本YOMI-1グランプリ実行委員会

<http://ameblo.jp/ehon-yomi-1>



#### 認知度を高めるための広報活動に助成を活用

助成をいただいたおかげで、3回目の開催となった昨年のグランプリは広報活動に力を入れることができ、より認知度を高めることができました。岩手県は読書ボランティア活動が盛んで、震災被害が大きかった沿岸部でも子どもや大人のためにと、絵本の読み聞かせをしている人たちがいます。もう少し規模を大きくできればと考えていますので、今後も応援をよろしくお願いいたします。

絵本YOMI-1グランプリ実行委員会  
尾形 さゆりさん(左) 佐藤 久美子さん(右)